

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成25年7～9月期

～東京の景況は、回復基調続くも横ばい～

- 「業況DI」(全業種)は、前回調査に比べ+1.1ポイント(前年同期比▲11.2→▲10.1)と横ばいであった。業種別にみると、製造業・建設業・卸売業・サービス業はやや改善したものの、小売業は-15.1ポイント悪化した。小売業については夏の猛暑など天候不順による来店客数の減少を理由とする声が多かった。来期見通し水準は▲12.1と今期水準に比べ+5.9ポイント改善の見通し。
- 「売上DI」(全業種)は、-0.3ポイント(前年同期比▲9.5→▲9.8)と横ばいであった。業種別にみると、製造業・建設業・小売業・サービス業は小幅に悪化した。卸売業が+10.1ポイント改善した。卸売業では円安により輸出を増やす動きが強まり改善している。
- 「採算DI」(全業種)は、-0.7ポイント(前年同期比▲16.2→▲16.9)と横ばいであった。業種別にみると、製造業・建設業・卸売業・サービス業は小幅な変動にとどまったが、小売業は-14.9ポイント悪化した。小売業は価格競争が厳しいことから仕入価格の上昇を価格に転嫁できず採算が悪化している。今期水準は、前回調査に比べ-1.9ポイント(8.9→7.0)と、プラス幅は縮小したが、6期連続で黒字となった。
- 「資金繰りDI」(全業種)は、+0.2ポイント(前年同期比▲8.4→▲8.2)と緩やかに改善している。

【調査要領】

○調査期間：平成25年8月23日～8月30日

○調査対象：東京23区内の中小企業2364社

○調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：977社(回答率41.3%)

<業種構成>・製造業242社(24.8%)・建設業113社(11.6%)・卸売業147社(15.0%)・小売業129社(13.2%)・サービス業346社(35.4%)

※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。

※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。

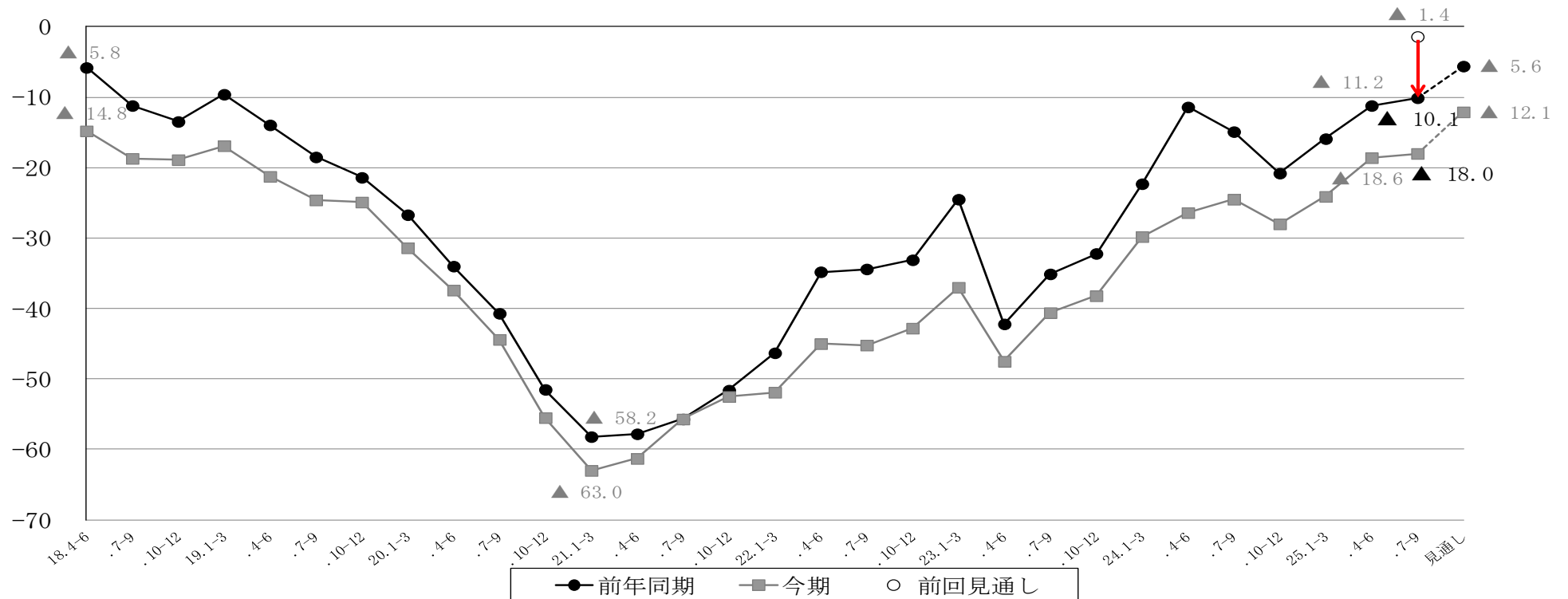
※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。

1. 業況

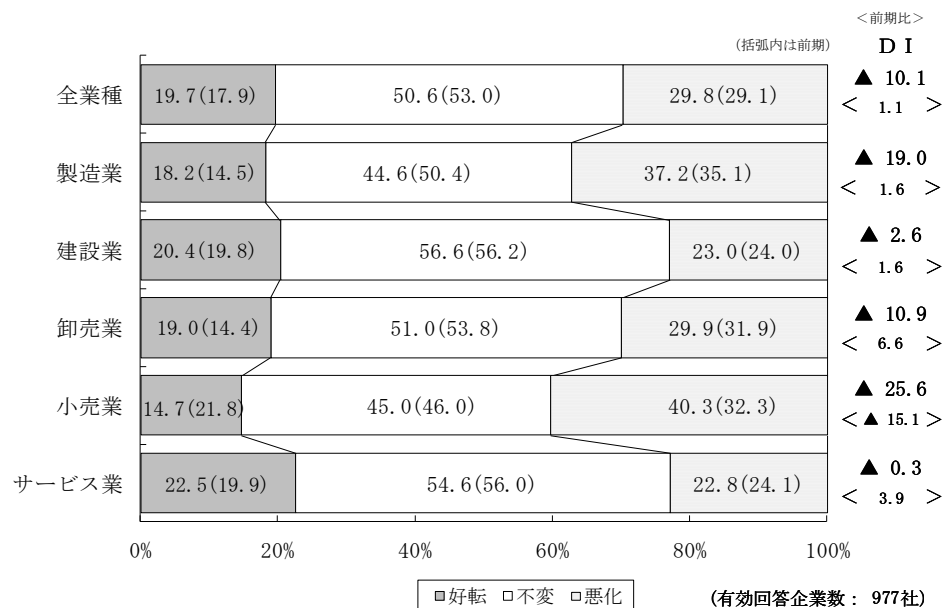
○「業況DI」(全業種)は、前回調査に比べ+1.1ポイント(前年同期比▲11.2→▲10.1)と横ばいであった。業種別にみると、製造業・建設業・卸売業・サービス業は改善したものの、小売業は-15.1ポイント悪化した。来期見通し水準は▲12.1と今期水準に比べ+5.9ポイント改善の見通し。

【企業の声】 夏の猛暑により人通りが少ない。秋口になれば売上ももう少し回復するのではないかと。(婦人服小売)
 猛暑とゲリラ豪雨のため、お客様の出足が著しく減少する日が今年はとても多い。(婦人衣料・雑貨小売)
 消費増税前の駆け込み需要が今期前半まであったが、今後は一息つきそうだ。不動産価格が上昇気味で、取得は見合わせている。(一般建築・賃貸事業用不動産)
 自動車メーカーの研究開発が活発になり、それに伴い需要が増えた。(自動車エンジン研究開発用計器製造)

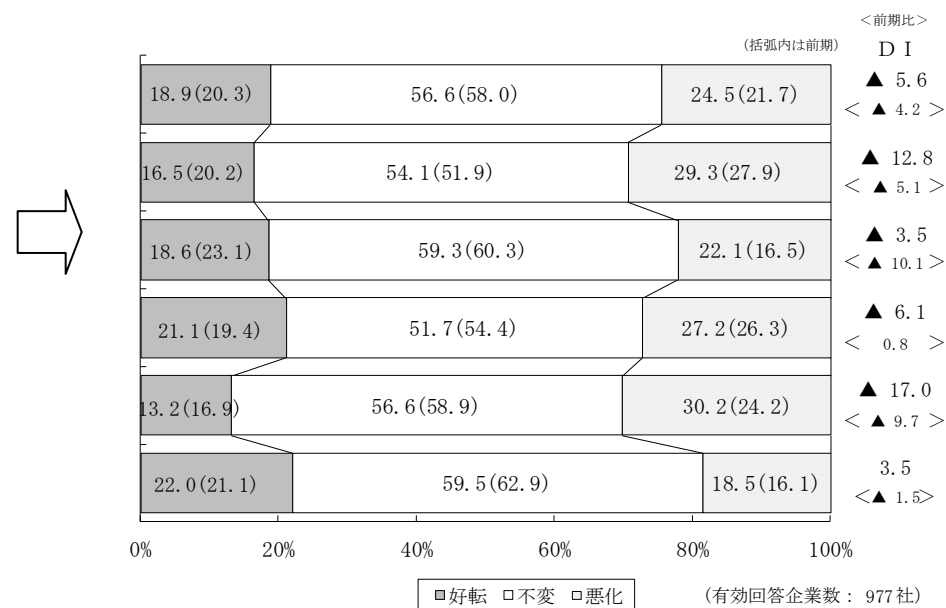
業況DIの推移(全業種)



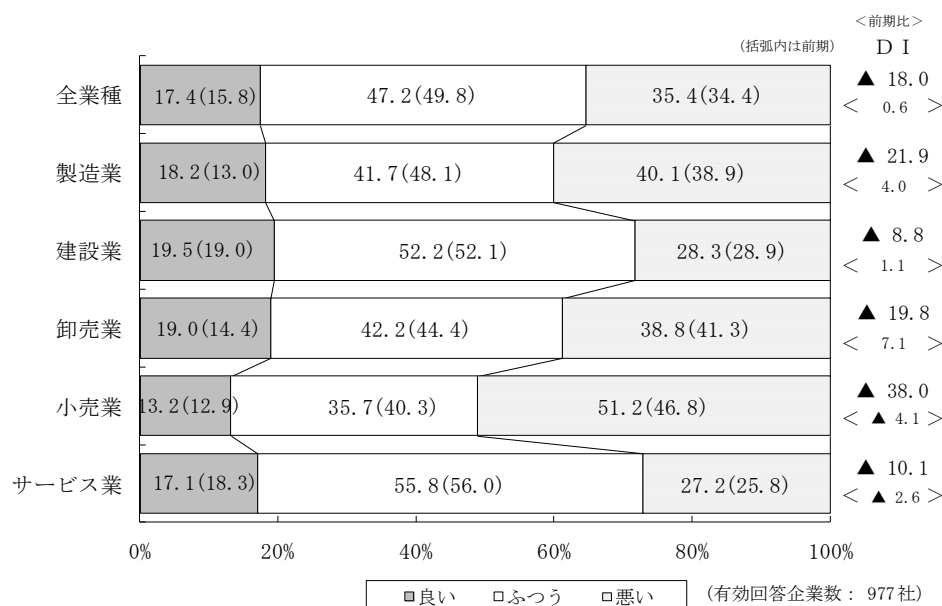
①今期の業況（前年同期比）



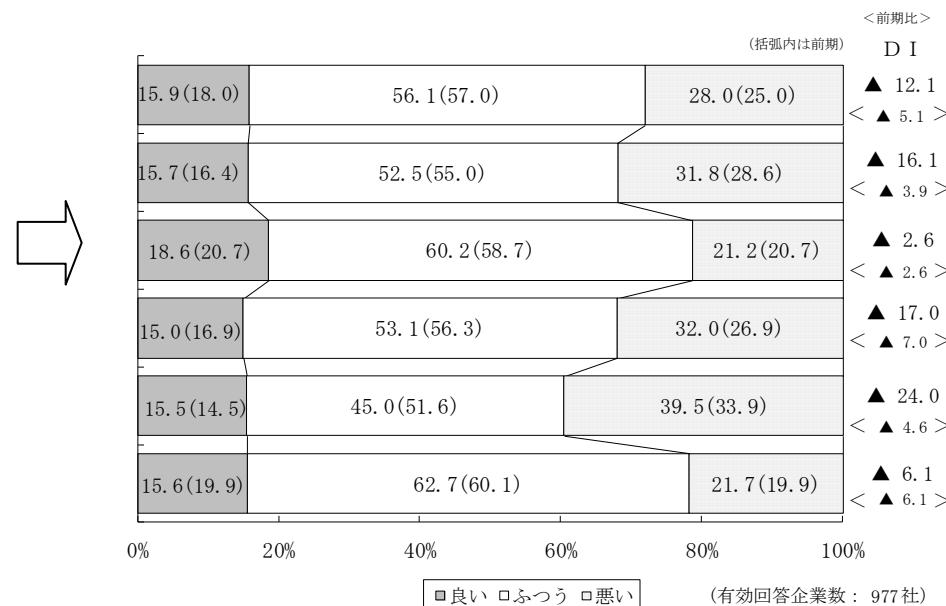
②来期の業況の見通し（前年同期比）



③今期の業況（水準）



④来期の業況の見通し（水準）

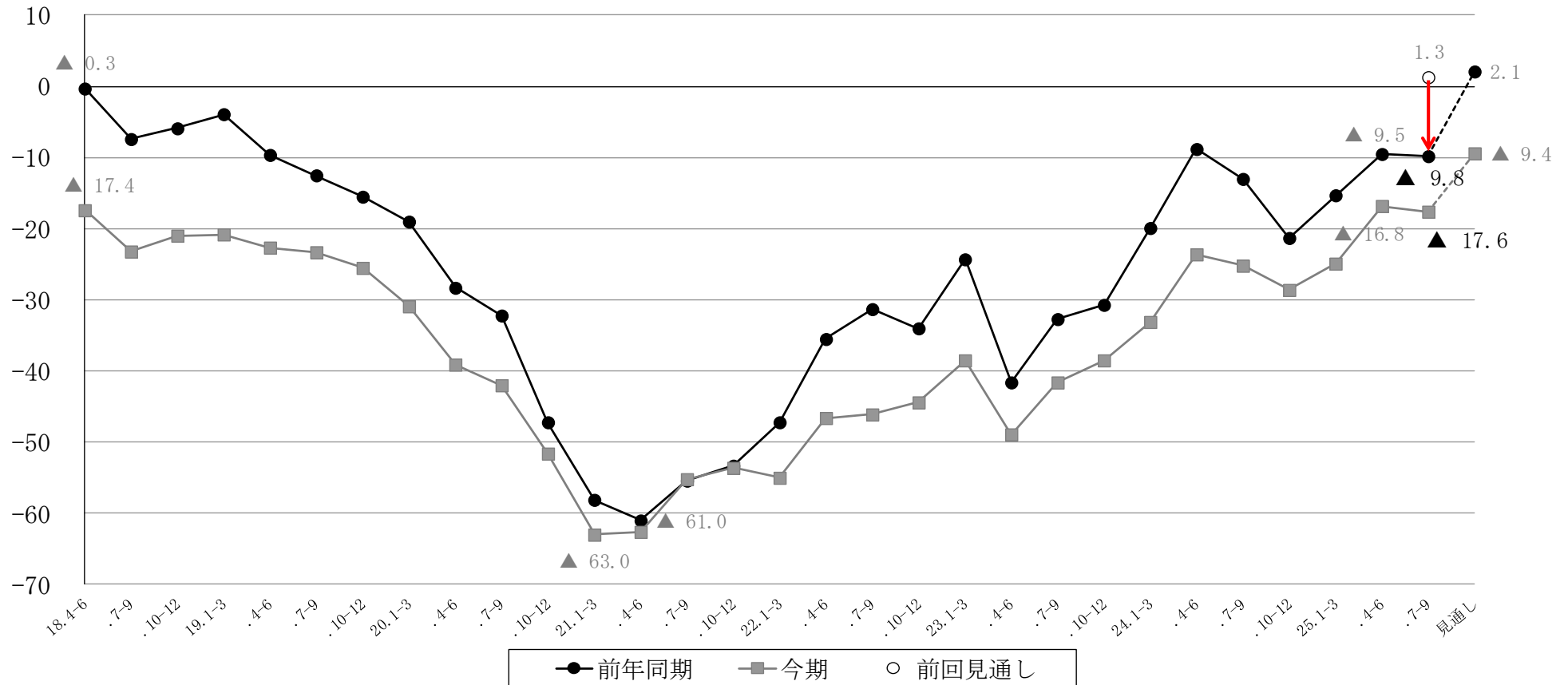


2. 売上

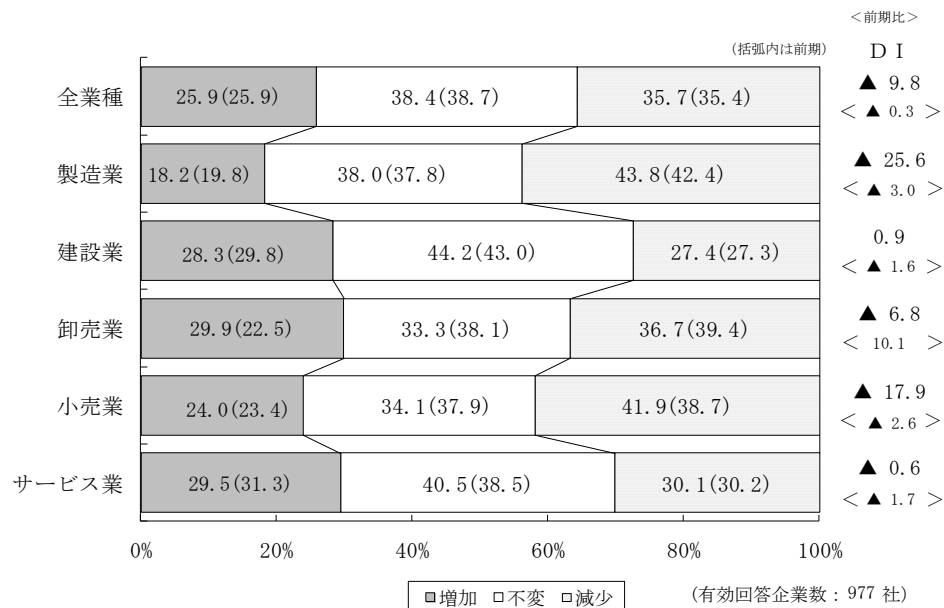
○「売上DI」(全業種)は、-0.3ポイント(前年同期比▲9.5→▲9.8)と横ばいであった。
業種別にみると、卸売業が+10.1ポイント改善した。

【企業の声】OA機器の入れ替え需要が昨年よりも多い。(中古OA機器の買取・卸販売)
美容室の来店者の頻度が改善してきたため、パーマ液などの受注が改善している。(美容卸)
5月からベトナムで始めたマグロの加工事業が順調に伸びている。(魚の輸入卸)
円安により中国、韓国からの仕入を国内にシフトした取引先が増加。当社の受注数量が上向いている。(繊維製品製造卸)

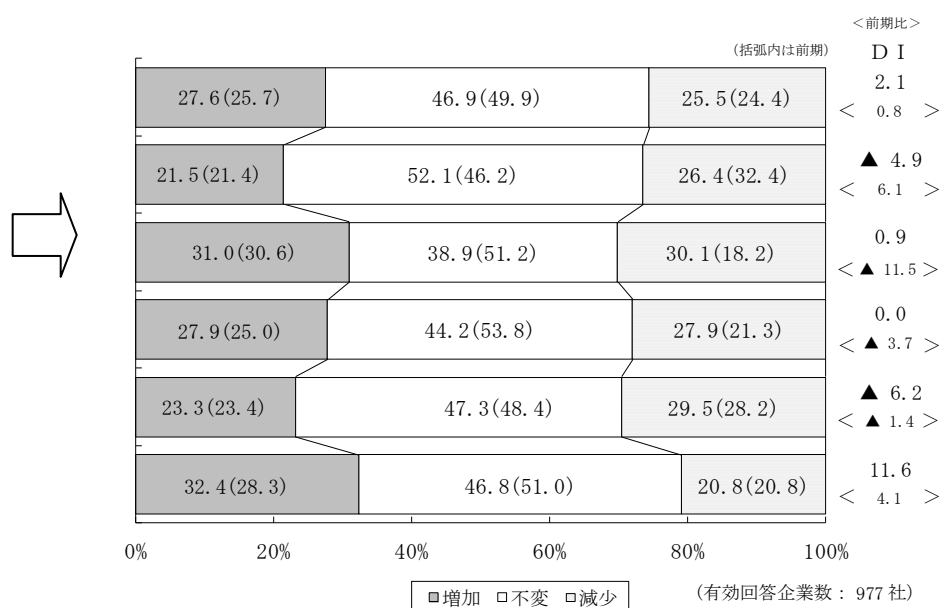
売上DIの推移(全業種)



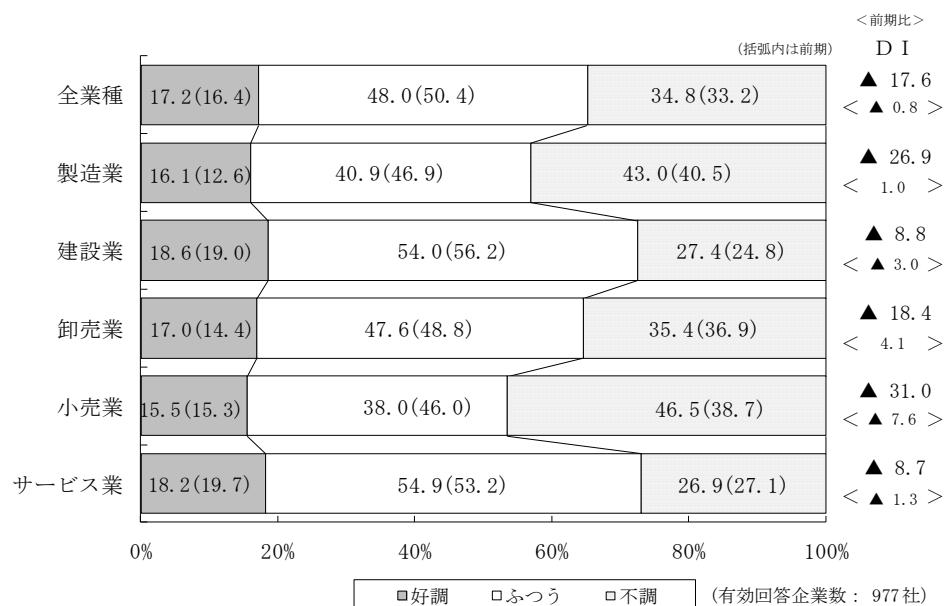
①今期の売上（前年同期比）



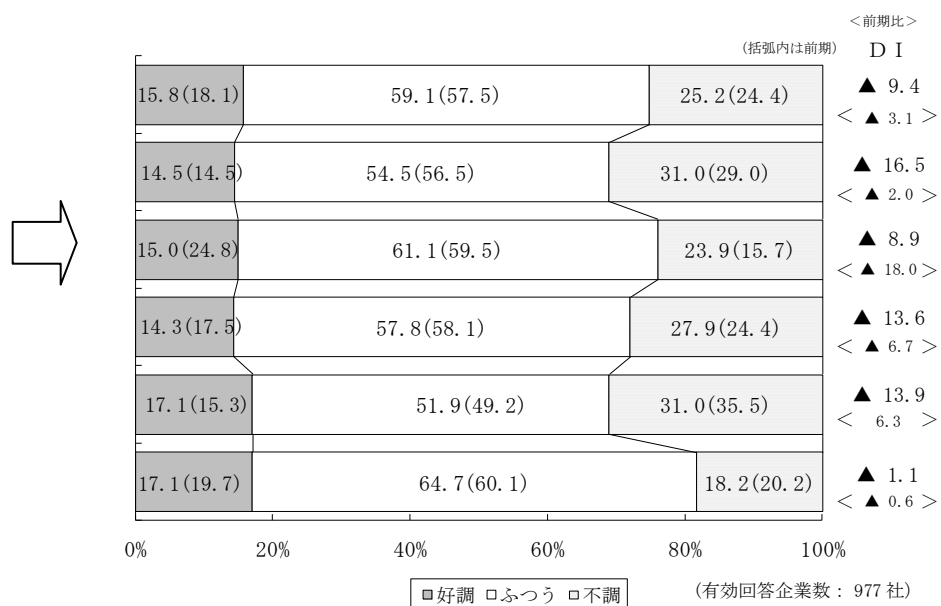
②来期の売上の見通し（前年同期比）



③今期の売上（水準）



④来期の売上の見通し（水準）

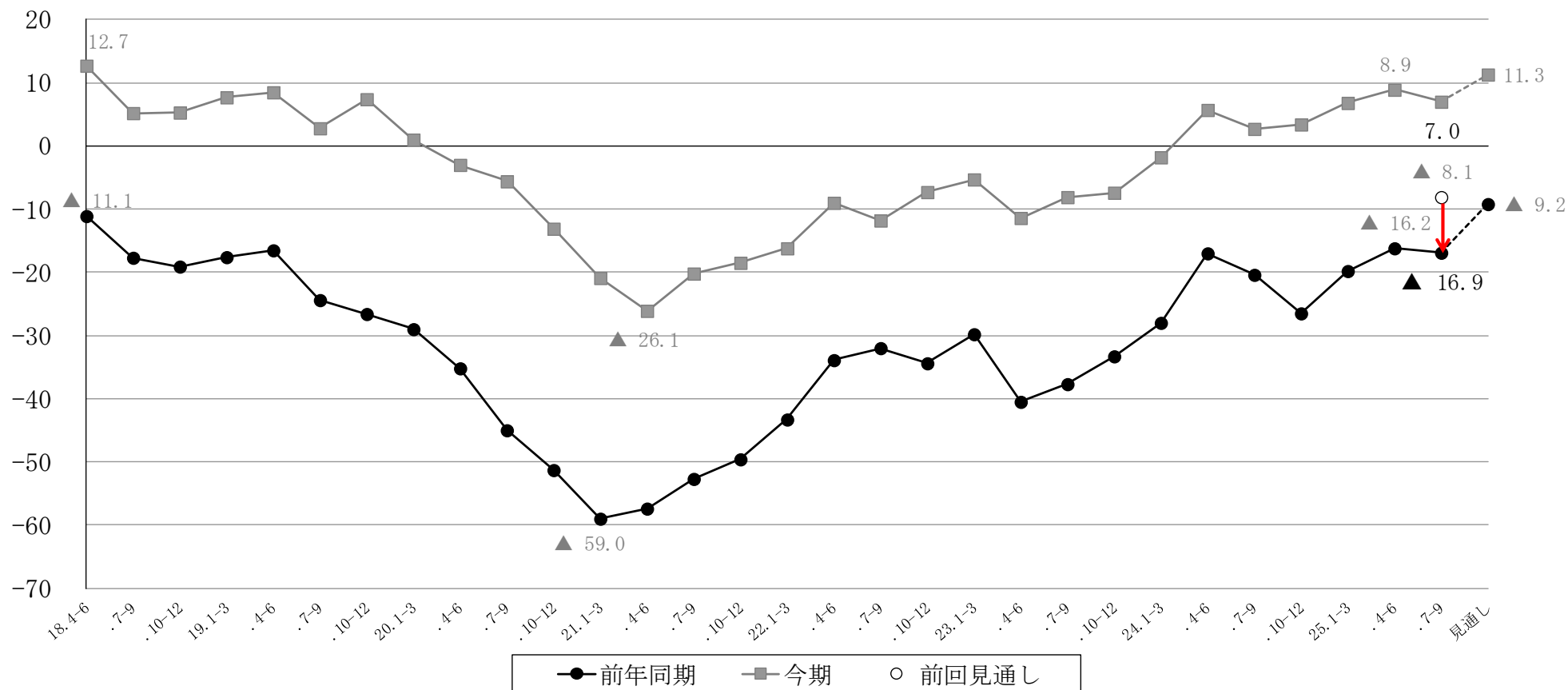


3. 採算（経常利益）

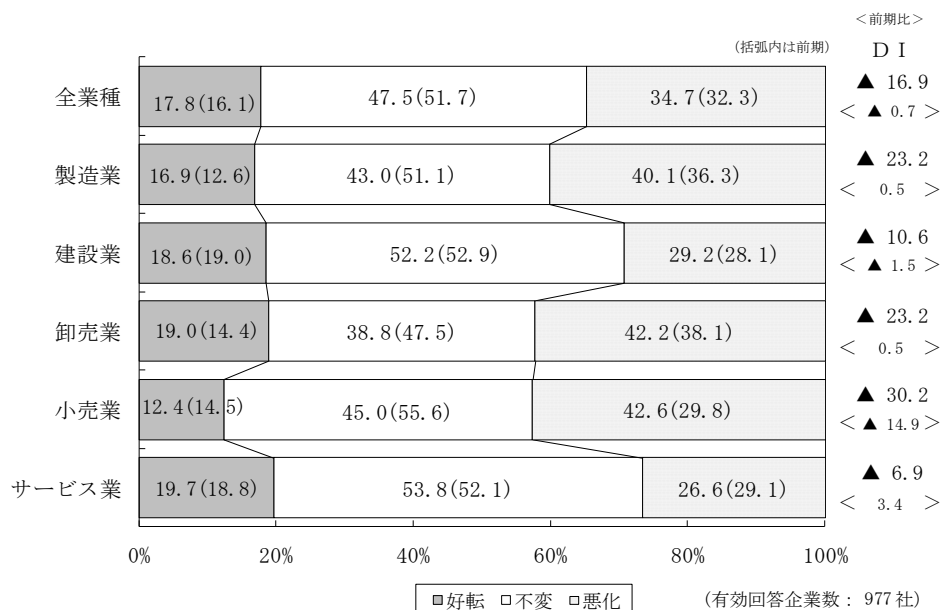
○「採算DI」（全業種）は、 -0.7 ポイント（前年同期比▲ $16.2 \rightarrow \blacktriangle 16.9$ ）と横ばいであった。
 今期水準は、前回調査に比べ -1.9 ポイント（ $8.9 \rightarrow 7.0$ ）とプラス幅は縮小したが、6期連続で黒字となった。

【企業の声】仕事の引き合いは活発で忙しいが、採算（利幅）のよい仕事がなかなかない。（ダクト製作取付工事）
 今期は円安の上下動があったが、値上げのタイミングが遅れ、利益が減少した。（石油製品小売）
 猛暑による需要減、更には円安による材料費高もあり、経営環境は極めて厳しい。（和菓子小売）

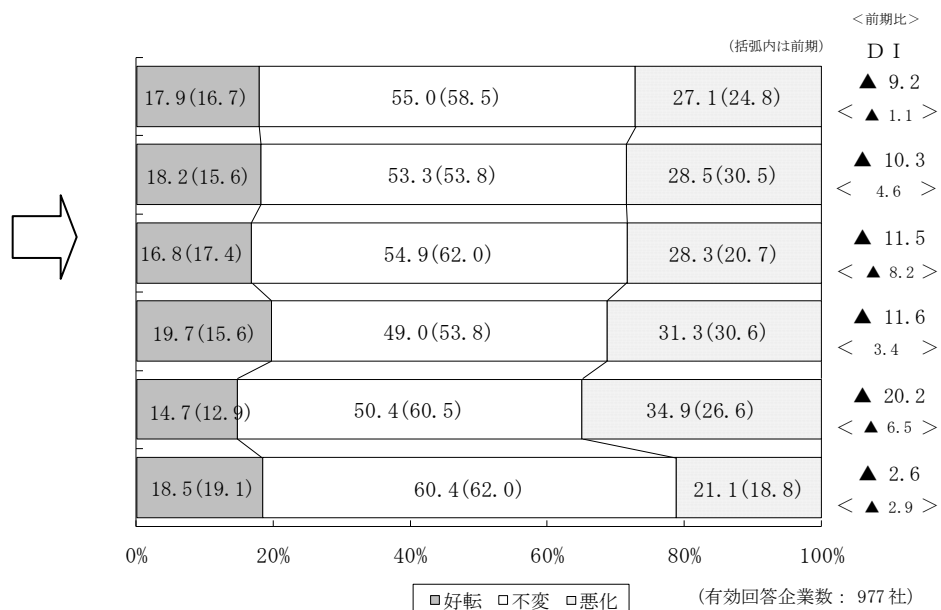
採算DIの推移（全業種）



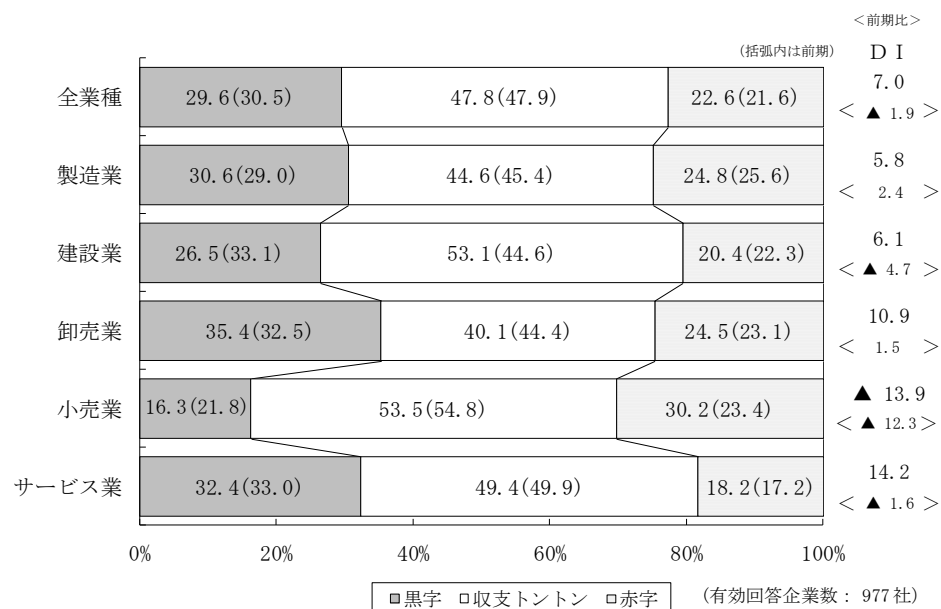
①今期の採算（前年同期比）



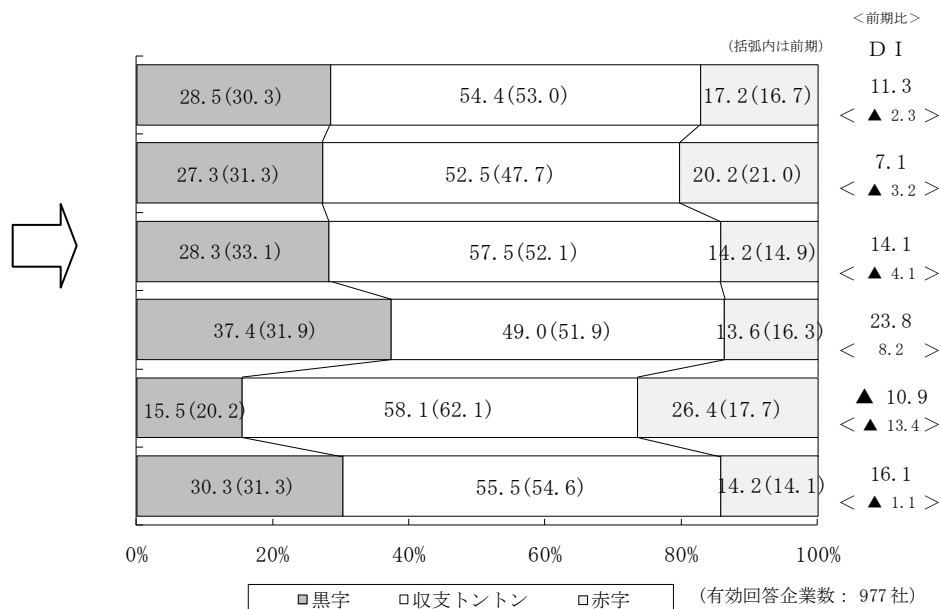
②来期の採算の見通し（前年同期比）



③今期の採算（水準）



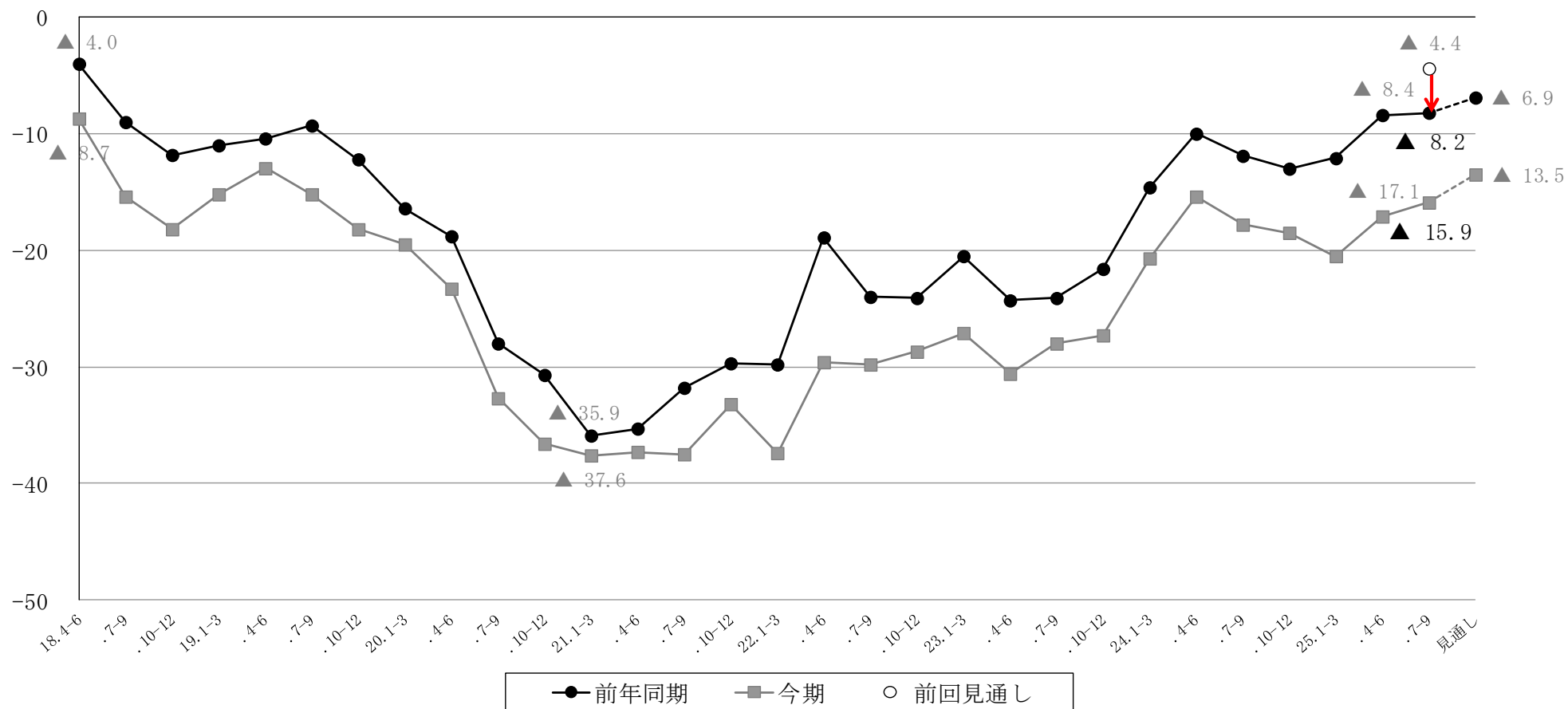
④来期の採算の見通し（水準）



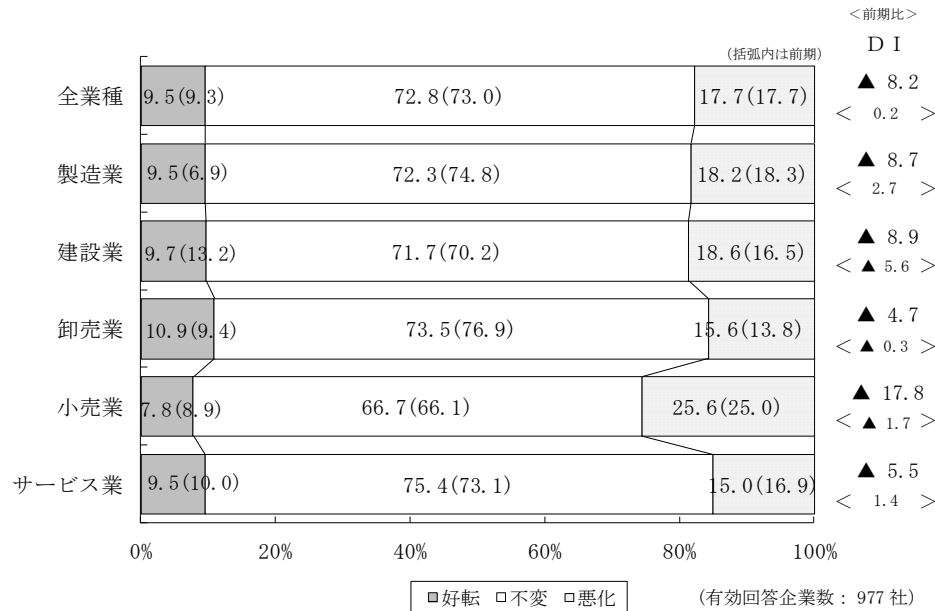
4. 資金繰り

○「資金繰りDI」(全業種)は、+0.2ポイント(前年同期比▲8.4→▲8.2)と緩やかに改善している。

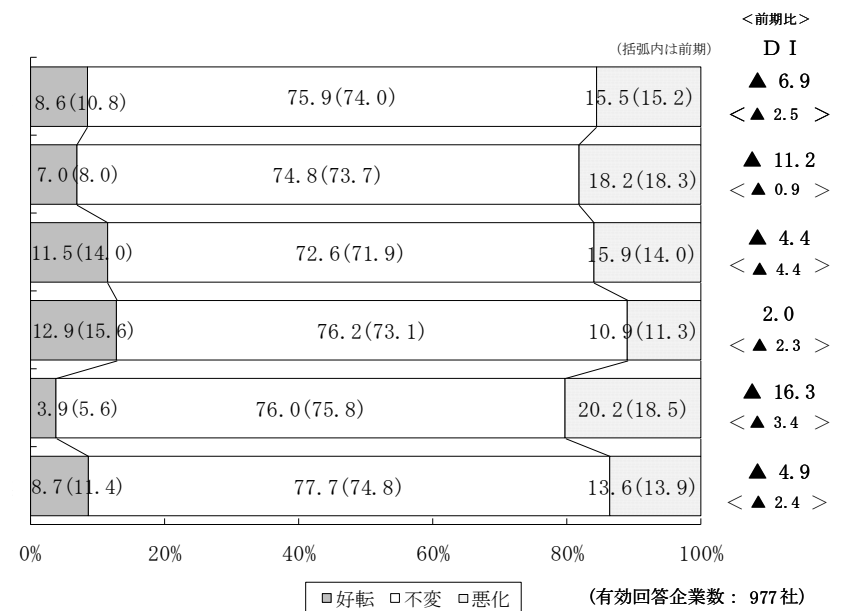
資金繰りDIの推移(全業種)



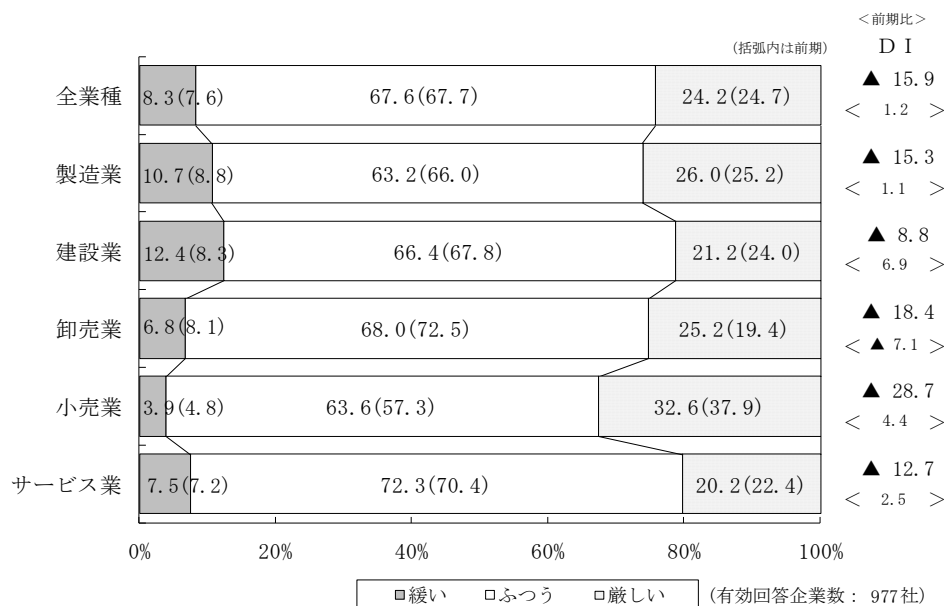
①今期の資金繰り（前年同期比）



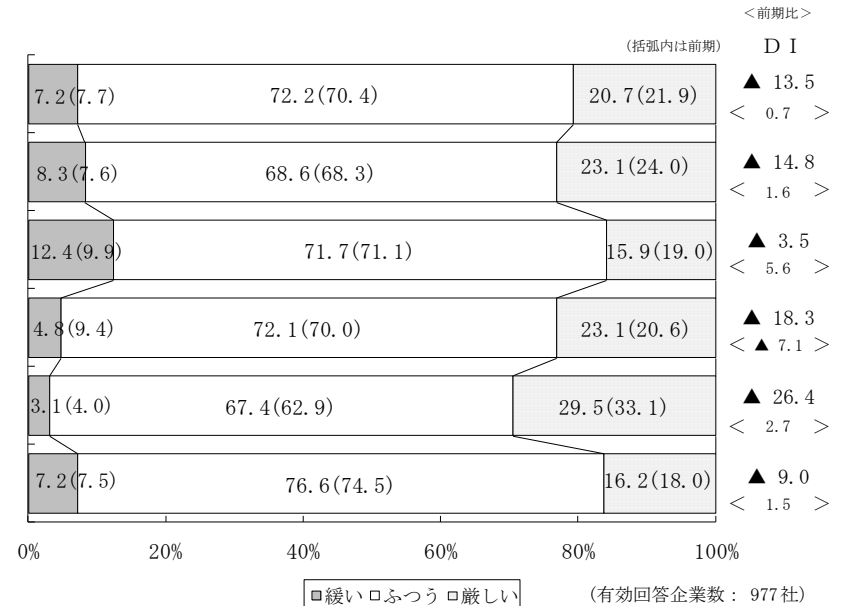
②来期の資金繰りの見通し（前年同期比）



③今期の資金繰り（水準）



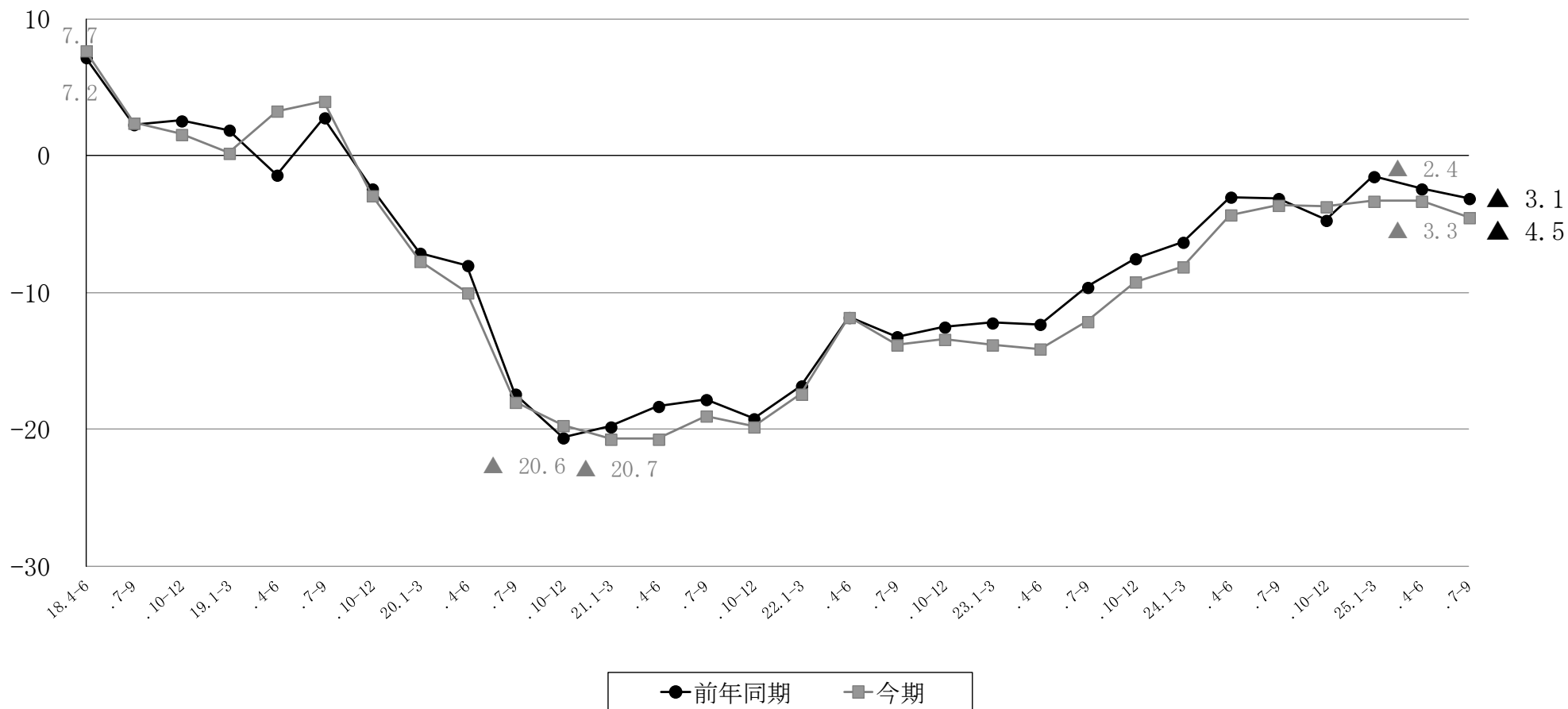
④来期の資金繰りの見通し（水準）



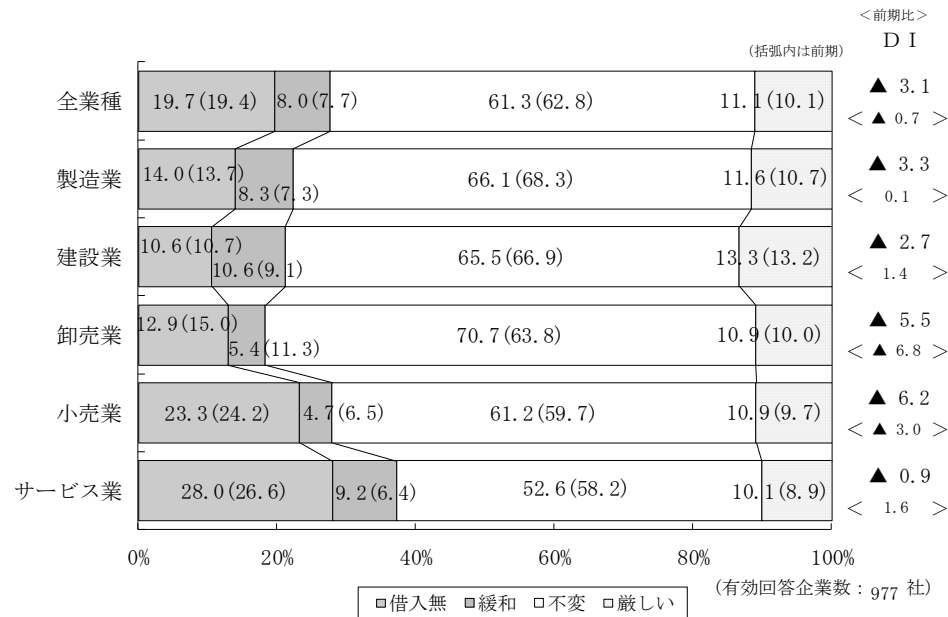
5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢DI」（全業種）は、前年同期比、今期水準ともに横ばいとなった。

貸出姿勢DIの推移（全業種）



①民間金融機関の貸出姿勢（前年同期比）



②民間金融機関の貸出姿勢（今期水準）

